

川村浩貴 平成 19 年卒

今思えば、数年前に吉田先生が、「新潟の全国総体で OB に来てもらう」と言っていたのが始まりだったような。

当時は自分が参加するなんて全然考えていませんでしたし、もっと年上の OB が誘われるのかなと思っていました。ところが、全国総体の話を忘れかけていた去年の 8 月下旬、吉田先生から全国総体登山大会補助役員に参加しませんかとお誘いがありました。

あの時は誘いを受けてすぐに、選手として大会に出て 23 歳で今度は役員として大会に参加できるなんて滅多にできない経験だ！と思い、すぐに参加することを決めました。その後、社長に直接一週間休ませてくださいと言いに行ったことを思い出します。直接休ませてくださいと言ったのは初めてで緊張しました。

それから一年後、今年の 7 月にあった役員研修会。自分は支援隊員として参加しました。久々の登山ということで道具があるか、ちゃんと歩けるかかなり不安でした。でも宿についてから久しぶりに先輩達に会って、四年ぶりに高校のとき一緒だったメンバーと登山できるのが嬉しくて不安なんてどこかに吹っ飛んでしまいました。二泊三日で苗場ルート、平標ルートと登りましたが、疲労感より同じ班や周りの役員との会話、久々の登山で天気が良かったので清々しさを覚えています。

研修会から半月後に本番を迎えました。1、2 日目は移動と開会式。全国の現役山岳部男子、女子を見て華やかだなと感じました。みんなカラフルなユニフォームで羨ましいなあなんて思ったり。3、4、5 日は登山行動。行動前日には毎回ミーティングをして、行動当日は支援隊として選手達の後を歩きました。ミーティングでは和気あいあいとしながらも気になった事を話あっていて、役員側にいる責任感みたいなものを感じましたし、行動中も常に無線機によるやりとり、問題が起こったときの対応など、初めて遭遇する経験が多かったように思います。6 日目は閉会式があり、県央工業高校が優勝。あの時は素直に「おおっ」と、思わず声をだして驚嘆しました。新潟開催で新潟代表が優勝したことは本当に素晴らしいと思いました。

今回、登山大会支援隊員として参加して班長、副班長、先輩方、他の役員、県央工業や他県の現役選手の方々との交流があり、とても貴重で有意義な時間を過ごせました。現役の時と違って審査がないから気軽に登山をしようと思っていても、支援隊なのだからしっかり与えられた任務をこなさなければいけないという緊張感。全員で大会を成功させようという一体感。本当に素晴らしいと感じました。それから、やはり登山は楽しかったです。高校からの仲間達、先輩方と一緒に登山が出来たことは、とても楽しくて嬉しかったです。現役の頃に戻ったみたいでした(笑)。会社には一週間休みを頂き、ご迷惑をおかけしました。そのおかげでいい経験ができました。吉田先生からは役員参加へのお声をかけていただき、本当にありがとうございました。またみんなで山に登りたいと心から思います。